



朝夷奈切通し

□大会概要

集 合:午前 8 時 30 分(金沢八景公園)
出 発:午前 9 時頃、3 グループに分けて出発
ゴール:午後 4 時頃(鶴岡八幡宮)
参加者:126 名
スタッフ:22 名
踏破者:72 名

◆ コース ～朝夷奈切通し～名越切通し～鎌倉海浜公園(昼食・一次解散)～極楽寺坂切通し～大仏切通し
～化粧坂切通し～亀ヶ谷坂切通し～巨福呂坂切通し～

◆ 鎌倉七切通しとは

鎌倉は、三方を山に囲まれ防御上非常に有利な地形をしていました。しかし、人や物資の行き来は不便でしたので、山の稜線を切り開いて道を作りました。これを「切通し」と呼びます。そのうちの主なものを「鎌倉七切通し(かまくらななきりどおし)」または「鎌倉七口(かまくらななくち)」と呼んでいます。
～鎌倉観光公式ガイドから一部引用～

📍 大会レポート

ウォーク大会当日は、参加者の日頃の行いが良いのか、加えてスタッフの行いも良かったのか、暑くも寒くもない、まさにウォーキング日和ともいえるとても良い天候に恵まれました。

そのおかげか、集合場所の金沢八景公園には、何人かの参加者が受付開始前からスタンバイ、受付開始後も続々と参加者が集まり、8時30分の受付終了までに126名の方が受付を済ませました。

出発式では主催者の挨拶のほか、注意事項やコース説明の後、しっかりと準備運動とストレッチを行い、スタッフ22名を含め、総勢148名でのウォーキングを開始しました。

ウォーキングは、参加者を3班に分け、10分間隔で最初の目的地である朝夷奈(あさいな)切通しに向けて元気よく出発しました。事故防止のため、それぞれの班ごとに、先導・中間・アンカーのスタッフが帯同しました。



国史跡 朝夷奈切通

① 朝夷奈切通し

朝夷奈切通しの入口までの間は、平場の一般道であり参加者の皆さんも和気あいあいと楽しそうなウォークでした。切通しに入ると一変、勾配がきつくなり、道路が濡れ、コケもあり滑りやすく、足元が悪く、そのため各々慎重に足を進めていました。それでも、この道は当時の姿を最も残している切通しで、木々が茂る中、岩盤からは清水が湧きだして、参加者の皆さんは森林浴を十分に楽しんでいる様子でした。



② 名越通し

朝夷奈切通しの次は名越（なごえ）切通しです。朝夷奈の森林を過ぎて一般道に出てからは、人通りのほとんどない閑静な住宅街を抜けました。その先に、富士山が見えるという関東富士見百景から子ども自然ふれあいの森に入りました。（残念ながら当日は富士山が見えませんでした。）

更に浄妙寺緑地を過ぎると、鎌倉では有名なイワタバコ（日の当たらない湿った岩場などに生え、タバコに似た形の葉を付ける）が群生しており、参加者の皆さんは口々に「すごいね。すごいね。」と見入っていました。



名越切通しは、三浦から材木座に抜ける切通しで、現在は JR 横須賀線の名越トンネルの上を通っていますが、道は狭く外敵を防ぐための置石も置かれています。また、途中には山の斜面を垂直に削り取って人工的な崖にした「お猿畠の大切岸（おさるばたけのおおきりぎし）」があり、こちらにも感嘆の声を上げていました。

🏠 昼食 🍷

名越切通しの次は、極楽寺坂（ごくらくじざか）切通しですが、その前に材木座の光明寺でトイレ休憩の後、昼食休憩場所である鎌倉海浜公園へ向かいました。昼食場所の

鎌倉海浜公園は、半日コース（13 km）のゴール地点です。ここで、約 50 名の方が半日コースを修了しました。最後の第 3 班がこちらに到着したのは午後 1 時を少し過ぎていました。

午後からは残り 5 つの切通し踏破のスタートです。参加者が約 70 名と減少したため、午前中の班編成を解除し、スタッフを含めて総勢 80 数名での団体歩行となりました。

③ 極楽寺坂切通し

鎌倉海浜公園を出て、湘南道路を由比ガ浜方向へ歩を進めます。途中から県道・藤沢鎌倉線に入り、江ノ電・極楽寺駅方向に向かいますが、この通りに「極楽寺坂切通し」があります。

道路の左右は山を切り開いたようになっていますが、朝夷奈切通しや名越切通しと違って、車も通行可能な道路となっており、皆さん、なかなかここが極楽寺坂切通しとは気づきません。ここだけは先導スタッフが声高に「ここが極楽寺坂切通しです。」と説明していました。極楽寺坂切通しは新田義貞の鎌倉攻めで激しい攻防戦が繰り広げられたところで、鎌倉・京都往還の出発点だったとのこと。



④ 大仏切通し

極楽寺坂切通しの次は、七切通しの中でも一番の難所である大仏（だいぶつ）切通しです。

テレビドラマでも有名な江ノ電・極楽寺駅の横を通り、稲村ヶ崎小学校前から打越トンネルを抜けて県道・藤沢鎌倉線に出た後、途中から大仏切通しに入ります。大仏切通しは源氏山公園まで続いているのですが、長谷から藤沢方面に抜ける道で当時の雰囲気の色濃く残す険しい山道です。左右に切り立った崖に囲まれた道は圧巻です。流石に参加者らも「すごい道だね。」とその驚きをあらわにしています。

この大仏切通しですが、こんな険しい道であるにも関わらず、時折、行き交うハイカーに外国の人が多いのにはびっくりしました。



⑤化粧坂切通し

源氏山公園でトイレ休憩の後、化粧坂（けわいざか）切通しに向かいます。化粧坂切通しも鎌倉攻めの主



戦場として有名な人気スポットです。それなりの年齢の参加者は思わず「♪源氏山から北鎌倉へ」と口ずさみながら歩きたくなるのですが、この切通しはそんな悠長な切通しではなく、急な勾配にむき出しになった岩肌、曲がりくねった道、さらに至るところに湧き水があり滑りやすいなど、とても険しい下り坂でした。一部段差の大きな箇所ではスタッフの補助が必要なようでした。

⑥亀ヶ谷坂切通し

化粧坂切通しを抜け、いったん平場に出てから亀ヶ谷坂（かめがやつざか）切通しに向かいます。あまりに急な坂に亀も引き返したという逸話が残るほどの坂道ですが、今は自転車やバイクが通る生活道路となっています。道路の左右は切り開かれた崖になっていて切通しとはっきり分かる道になっています。

この坂を下ると県道・横浜鎌倉線に出ます。この県道を左に行くと JR 北鎌倉駅で、右折するとすぐ先に鎌倉五山筆頭の臨濟宗建長寺があります。大半の人がゴールである鶴岡八幡宮はもうすぐだと分かるので、皆さん、何だかホッとした様子でした。

⑦巨福呂坂切通し

鎌倉七口の最後は巨福呂坂（こぶくろざか）切通しです。建長寺の前を過ぎると切通しのようなトンネルの道

がありますが、この道ではありません。巨福呂坂切通しは、鶴岡八幡宮から山之内に抜ける道でトンネルの西にあり、今は通れません。

したがって、トンネルを通過した時点で、今回の鎌倉七口切通しすべてを踏破したことになります。参加者の皆さんは一様に満足気な顔を見せながら、すぐ先あるゴールの鶴岡八幡宮へ向かいました。



鎌倉七切通しウォーク大会スタンプ帳

朝 夷 宗 名		化 粧 坂	化粧坂
越		亀 ヶ 谷 坂	亀ヶ谷坂
極 楽 寺 坂	極楽寺坂	巨 福 呂 坂	巨福呂坂
大 仏	大仏	鶴 岡 八 幡 宮	鶴岡八幡宮

2023年10月12日

鎌倉七切通し踏破

住所	〒 231-0011 横浜市中区太田町4-47
氏名	鎌倉 権五郎

午後4時過ぎにゴールの鶴岡八幡宮に到着です。参道に入る前に参加者らはいったん列詰して、整然とゴール担当スタッフのところに向かいました。

スタッフから完歩のスタンプとシールをもらった後、踏破証を受け取り流れ解散となりました。

これで、総距離 23 kmの「鎌倉七切通しウォーク」が終了です。この間、事故者が出ることもなく無事に終わったことにスタッフ一同が安堵したことは言うまでもありません。

参加者の皆さん本当にお疲れ様でした。

次回の参加をお待ちしております。

記：神奈川歩け 星野 昌史